

# 牧草園藝

秋播種子特集号



# 結球白菜の育苗法と主要品種の特性

中原 忠 夫

結球白菜の播種期はちょうど高温乾燥期に当り、また病害虫の被害も甚だしいので、直播法によると手間のかかるのが一般である。更にヒメダイコンウジの被害が多くなつて来たため結球の良いものを採るには早播が要求されて来ている。ところが白菜の作付は前作との関係もあり八月上旬よりの早時はむづかしく、播種期を早めるには



松島結球白菜新二号

る。練床による定植時の断根は少ないが、ブロックは乾燥すると固り易く、根がブロックを割つて伸長しにくくなる。特に火山灰系の土壌で乾燥した場合、生育が往々思わしくなることがある。

移植法によると移植に手間とり、育苗日数も余計かかるが、定植後の生育は特に乾燥するようなどころでは、ブロックよりもむしろ好成績を得られる。

が、結球白菜は地上部が大きい割に軟弱で、しかも地下部がこれに比して繊弱で根がりが大きい。そのため、定植期の断根は生育にあたる影響が大きいので、育苗は困難なものの一つである。

さて育苗の方法には練床を利用する方法(練床育苗法)と、果菜類の育苗した床を利用して播種し、一回移植して定植する方法(移植育苗法)とがある。

練床による育苗は要するに土を練つて煉瓦状のブロック(角片)に切り、これに苗を育て、そのまま畑に定植する方法であ

に堆積して作つた床土を利用するのが良い。しかし無い場合は春育苗に使つた温床の床土と踏込材料を混ぜるか、畑土と完熟一步前の堆肥を等量混入したものを用いるとよい。肥料は坪当り硫酸一〇〇匁、過石五〇匁くらい練る時混入する。

□ 練り方 練り方は定植の際各ブロックが崩れないこと、根がブロックをある程度自由に伸びられるように作ることが要点で、根が伸び易いように練ると定植の際にブロックがこわれ、ブロックを丈夫にかた

くすると根の伸びが悪くなるという具合にこれらの条件は相反するものである。したがつて練り方は経験によつて会得せねばならない。従来練床は良く練ることといわれて来たが、どの程度のかたさに練上げた方が良いか、これも用土との関係、定植する畑の条件によつて加減しなければならぬ。練り過ぎる場合は、練り過ぎの害が大きいといわれる。

練る方法は床を設ける場所に床土と腐熟堆肥を四〇五寸厚きの量を用意して塊を良く砕き、これに水を加えてレーキか平鍬で練るのである。練り終つたなら表面を板で打つて平にし、徐々に乾くようにする。播種予定日が決まると何時練ると良いかという大体播種の前日の午後練つて、ヨシ



松島結球白菜純二号

ズ等を覆つて一晚放置し、翌朝羊羹状に固つたならば、庖丁に水をつけながら定規をあてて二寸し三寸角に底部まで切るのである。

ハ 蒔方と手入 切込が終ると直ちに播種した方がよい。固くなつてからの播種は結果が悪い。播種は各ブロックの中央に茶碗の尻で円形に小さな穴を掘り、その穴に八分目くらいまで



松島結球白菜大型二号

床土を入れ、それに一カ所三〜四粒時き、腐葉土または床土を覆土する。播種後の灌水は大して必要でないが覆土した上を落ちつかせるためかく細目のジョロで灌水すると良い。

播種後乾燥を防ぐために引続きヨシズを覆う。そして三〜四日もすると発芽し始めるから本葉の出ない前に間引いて二株くらい残し、後本葉二枚くらいの時第二回の間引をして一本立

とする。灌水は高温で乾燥し易い時期であるから、ブロックが常に乾かないようにする事が大切である。特に発芽初期の乾燥は根の伸長を阻害し、立枯病を多発するおそ

れがある。なお発芽当時は根も十分伸びてないので、荒く灌水すると時き穴の土が流出するおそれがあるので、細めのジョロに少しづつ回数も多くやる必要がある。育苗の後半はジョロでなくともよく、十分下部まで水がしみるように灌水することが大切である。育苗中には数回D・D・Tや銅製剤を散布する。

次にブロックの大ききであるが、苗床の育苗期間によつて異なり、長期日の育苗を目的とする場合ブロックを大きめにすると良い。しかし大体育苗期間二〇日、二五日で本葉三、四枚くらいの頃本圃に定植しているため、ブロックの大ききは二寸くらいが良い。ただ定植期が多少づれる不安のある場合は、三寸角くらいにブロックを拡張すると良く、更に育苗期間を長くする場合ブロックを大きくするばかりでなく厚さを増さなければならぬ。

二 定植 ブロックに十分灌水して、こわさぬように掘上げ本圃に運び定植する。ブロックに十分灌水さへしてあれば本圃での灌水は少なぬいで植付けのための植傷みは殆ど起らない。

植付けに際してはブロックを深目に埋め上面にも覆土するようにして乾燥を防ぐようにする。

## 二 移植育苗法

イ 時き床 果菜等の育苗床の跡を利用して畦幅三寸くらいの条播とし、十分灌水して発芽までヨシズを覆うておく、一反歩に要する時き床は障子一、二枚で足りる。

ロ 移植 本葉一枚目が出始めた頃移植にとりかかる。移植床は時床同様果菜類等の育苗跡が良いが、幾分堆肥を多く含んでいる重い土を用いた方が、前述のように白菜は断根をきらうものであるから、定植の際の植え傷みを軽減する事ができる。移植はかんらん移植と同様に取扱つて良く畦幅株間を三寸角くらいにする。移植後は高温時期でもあるので灌水を度々することがは勿論であるが、生育は練床等より急ぐからつとめて健康を養うようにすることが大切で、徒長苗にならぬようにすべきである。ただ苗を無理に押えるため灌水を差控え、苗がしほれてあわてて多量に灌水することが続くと立枯が多く出るので注意を要する。



松島交配五号白菜

の育苗跡が良いが、幾分堆肥を多く含んでいる重い土を用いた方が、前述のように白菜は断根をきらうものであるから、定植の際の植え傷みを軽減する事ができる。移植はかんらん移植と同様に取扱つて良く畦幅株間を三寸角くらいにする。移植後は高温時期でもあるので灌水を度々することがは勿論であるが、生育は練床等より急ぐからつとめて健康を養うようにすることが大切で、徒長苗にならぬようにすべきである。ただ苗を無理に押えるため灌水を差控え、苗がしほれてあわてて多量に灌水することが続くと立枯が多く出るので注意を要する。

## 早生 松島結球白菜 新二号

いづれの地方にもよく結球する早生大型種

(完全結球六五日) 耐病性と生産力の高い超多収の早生種で、松島白菜中最も強健で一般向または専門家用として喜ばれる代表的品種である。形状は肩がやや張り、頂部豊円、幾分長目の巨大球で品質は良好である。生育旺盛で施肥量に応じて大球となる特性があるから中小球を希望する場合は密植するがよい。

## 極早生 松島結球白菜 純二号

結球の確実な寒地最適の極早生種

播種後六〇日くらいで採取できる幾分丸味を帯びた円頭型の極早生種で、一個六、八百匁くらいの小型であるが、早蒔する本圃地または前作の關係で晩蒔する場合は最適の品種である。なお本種は寒地及び暖地の高冷地における早期出荷用としてその特

苗床ではD・D・T等薬剤散布につとめることは練床と同様である。定植が近づくと定植の五、七日前に株の周囲に棋の目に庖丁で切れ目を入れて置く、そして定植する前に十分灌水して切目を入れてある各角片が、ちょうど練床のブロックのようにくずれないように十分しめりを与える。

## ハ 定植 移植

育苗法の特長は、軽々な乾燥しやすい土で灌水条件の悪い場所にも定植時多少の灌水さえすれば、一時苗がしほれるが練床よりその後の生育が良いという点にある。しかし植傷みのため長を發揮しておる。

## 中生 松島結球白菜 大型二号

大栽培に適する耐病性の大型豊産種

(完全結球七〇日) 純二号より選出した円頭型の中生種で、性状は純二号に似ているが一個一貫五百匁以上の大球となり、極めて耐病性強く栽培も容易で収量の多い優良種。蔬菜専門家または自家用として多収を望む場合は本種に限る。

## 早生 金澤結球白菜 (中晩生)

(完全結球八〇日) 耐病性と多収の点で定評ある金沢白菜(京都三号)から選抜育成した早生種で、約一週間早く、松島系晩生種よりも十日ぐらゐり早い。球形は写真のよう

に開張した長円形の短砲弾型で頂部は丸味を帯びて一個二貫匁ぐらゐりとなる。強健で高温に耐え、道央部の早蒔に適し、また道南部・東北地方の多収品種として有望である。



早生金沢結球白菜

生育が一時停止するから、できるだけ丁草に苗を取扱い植付後麦稈か野乾草等を短かく切つて、苗の上にあふりかけておき強日光から守つてしおれるのを幾分なりとも防ぐようにする。かようにすると四、五日でかなり畑が乾燥しても回復して来るから、薄い液肥なり尿素を追肥してやる。稈類をかける場合、D・D・Tを散布しておく弱つた時の害虫の被害を軽減することが出来る。なおこの方法による場合、約一週間くらい早めに播種して早めに植付けるようにする。

(筆者は藤沢育種場在勤)

## 改良 理想結球白菜

最も作り易く収量の多い良種

(完全結球六五日) 結球性の強い砲弾減の大球品種で、本道東北地方のように低温な地方では殊に優良なものである。莖幅広く結球は抱合性でよく緊り品質も優れ、一個一貫目以上となる。病害に比較的強く栽培も容易で、また輸送貯蔵に耐える。

## 松島交配五號白菜

一代交配……………極早生種

(完全結球五五日) 松島白菜と野崎二号との一代交配種で純二号より更に結球が早く葉色は松島よりも淡緑で、球質は野崎に似るも大型である。雑種強勢による極めて耐病性の強い極早生種で早期出荷用または晩播栽培に用いて優れた性能を發揮する。(白菜の価格は七頁に掲載してあります)